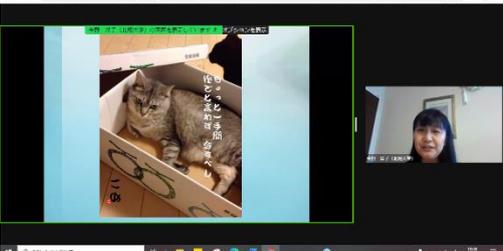


養護教諭部会 実技研修会 終了報告

テーマ	子どもの未来を拓く保健室の整理収納	
日時	令和 3年 8月 24日(火)	
会場	各学校からのリモート開催	
講師	今野 洋子 氏 (肩書:) 北翔大学 教育文化学部 教育学科 教授	
参加者	69 名	
研修会 の 様子		<p>保健室の整理収納は、災害や緊急事態などの万が一という未来に備えるものであり、養護教諭だからできること、養護教諭にしかできないことであるとのお話がありました。また、子どもにとって安心・安全、使いやすい保健室であるためにも、整理収納は必要であることを学びました。</p>
		<p>整理とは、その物の適正量・適正数を考え、必要ではないものを取り除くことであり、保健室に置いていいのは『今』必要なものだけであることを学びました。整理した物を秩序に従って並べ、必要な物を使いやすく収めること、「使ったら戻す」が簡単にできるシステムが重要であることを学びました。</p>
		<p>整理・整頓・収納を、実際に行ってみました。救急ポーチを整理したある学校では、使い捨て手袋や嘔吐用の袋が大量に入っており、適正量・適正数を見直す重要性を確認しました。収納するときは、よく使う物を前へ配置すると、実際に使用するときもスムーズであることを学びました。</p>
		<p>収納では、収まるだけの適正量をコントロールすることができるため、ファイルボックスが安価で活用しやすいとのお話がありました。『ちょっと一手間 後でと言わず 今すべし』『7割収納を心がける。残りには幸せが入る』とのお言葉が、とても印象的でした。</p>